

道徳 1年生 学年通信 10月号

平28①保護者宛第38号
平成28年11月7日
熊谷市立妻沼西中学校

学年の道徳の目標

- ・望ましい生活習慣を身につける。
- ・互いの良さを認め合い、助け合って行動できる。
- ・自ら決めたことを最後までやり抜く強い意志をもつ。

各クラスの道徳

「釣りざおの思い出」(主題 節度ある生活)

中学時代は気の向くままに行動してしまう。そのため周りに迷惑をかけたり、信頼も失ってしまうことがある。主人公の「少しぐらい」という考えが引き起こした問題を通して、衝動に流されることなく時間を守ることの大切さに気づき、節度ある生活を送ることの大切さを考える授業でした。裏面に資料を載せましたご一読ください。

- ★ 私もお母さんとの約束をやぶったことがあります。この授業を通して約束事はちゃんと守っていききたいと思います。(工藤彩乃)
- ★ 一つの小さな約束でももしかしたら大きな事につながるかもしれないから約束は守りたい。(赤石直弥)
- ★ 私は約束を守ることは大切なことだとあらためて思いました。また、約束をしっかりと守らないと周りの人にも迷惑がかかると思いました。(大岡蒼依)
- ★ 僕は「釣りざおの思い出」を通して、どんなに自分がしたいことがあっても時間を守らないといけないことがわかりました。時間を守らないと家族や友達に迷惑がかかってしまう事がわかりました。(大岡飛羽)
- ★ この授業を受けて自分で決めたことはしっかり守らないといけないということに気づきました。私もしっかり時間を守って生活していきたいと思いました。(堀越夏稀)
- ★ 約束を破ってしまうと自分が後悔する事になるし、他の人にも迷惑がかかってしまうことがあるので約束を守らなければいけないということがわかりました。(新島龍彦)
- ★ 時間を守ることはこんなに大切なんだなと感じました。私も「少しくらい大丈夫」と思っていたけど結構心配かけていると思いました。時計を見て行動していきたいです。(青木祐依)

11月の道徳の予定

- ・ふと目の前に(主題 謙虚な心で)
- ・パーカッションとともに(主題 集団の一員として)
- ・あいさつについて(主題 あいさつの大切さ)
- ・気まづい時間(主題 自律する心)

合唱祭を振り返って

10月28日に行われた合唱祭。生徒達は一つの行事を通してさまざまな経験をし、考え、自分の「思い」を持ちました。その「思い」が生徒を成長させていきます。生徒に合唱祭の体験を今後の生活にどう生かしていきたいかをききました。



- ★ 今回、合唱祭で実行委員をして大変だったけれど合唱祭の準備が整ったときはすごくうれしくて、またそれを(みんなに)喜んでもらえてとても嬉しかった。また、実行委員をやってみたい。(内田日菜子)
- ★ 合唱祭を経験して、思ったことは団結して歌うことが大切だと思いました。他の人が声を出すからといって自分は声をださなくてもいいのではなく、みんなで声を出すことが大切だと思います。これからもみんなで協力してやっていきたいと思います。(市堀大翔)
- ★ みんなで協力すればいいことがあるということを学んだ。優勝はすることが出来なかったけど一人一人が意識してとつても心に残る合唱祭になったと思うので、みんなで協力して残りの1年生を頑張ろうと思いました。(近藤愛海)
- ★ 意識するだけでなく行動にうつすことも大切だと感じた。有言実行を目標にしていきたい。(厨子勇希)
- ★ これからも交流音楽の授業を頑張りたいです。来年の合唱祭はもっと大きな声で歌いたいです。(中島瑠花)
- ★ 合唱祭は一つになることが一番大変で、自分のパートばかり気にしてしまうとバラバラになってしまうことが分かった。クラス全体で何かやるときは合唱祭で学んだ協力し合うことを生かしていきたい。(村山咲来)
- ★ 一つの目標に向かって全員で協力できていたのでこれからも続けていきたい。(長島美幸)

【地域・保護者の方のご感想】

- 私の生まれ育った所は田舎でして有名人など決して来てはもらえぬ所でした。この地は首都に近く、いろんな人と接することができ、生徒達にとってはいろいろな意味で良い影響があるだろうと思います。良く学び他人のために役立つ人間に一人でも多くの生徒がなり、学校を巣立って行って欲しいと思いました。
- 公共の場所でのルールは子ども達に守るように言っていますが、自分が守っていないと子ども達にも注意が出来ないので、自分も気をつけるように心がけていますが、より一層気をつけていこうと思いました。

貴重なご意見ありがとうございました。

この通信をご覧になったの感想や御家庭での実践の様子をお気軽にお書きください。返信欄は切り取ってお子様を通して担任まで御提出ください。

き り と り

返信欄